

フィンランド語文法：上級① 分詞の概要・能動現在分詞

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



分詞とは何か

- 動名詞は動詞を名詞にした形。それに対して分詞は動詞を形容詞にした形（日本語の連体形に相当）。

laulaa 「歌う」 > **laulava** poika 「歌う少年」
(laulavaは現在分詞)

- 分詞は形容詞なので、名詞を修飾したり補語になったりする。
- 形容詞は名詞としても使われるので、分詞も名詞となる。



分詞の全体像（1）

	能動	受動
現在分詞	laulava poika	laulettava laulu
	歌っている少年	歌われる歌
過去分詞	laulanut poika	laulettu laulu
	歌った少年	歌われた歌

●分詞は2つの基準により4つの形に分かれる。

- ①能動か受動か
- ②現在分詞か過去分詞か

●4つの分詞

- ①能動現在分詞
- ②受動現在分詞
- ③能動過去分詞
- ④受動過去分詞



分詞の全体像 (2)

動作主分詞	否定分詞
pojan laulama laulu	laulamaton laulaja/laulu
少年の歌う／歌った歌	歌わない歌手/歌われない歌

- さらに動作主分詞と否定分詞が存在する。
- 動作主分詞の特徴は、分詞の主語に相当する表現をつけられること。
- 動作主分詞には現在／過去の区別はない。
- 否定分詞は「...ない」という意味をもつ分詞。
- 否定分詞には能動／受動、そして現在／過去の区別はない。



能動現在分詞の作り方

- 能動現在分詞の印は -va / -vä
- -va / -väは母音語幹につけるが、ktp 交替のある語では強形につける。

laulaa > laula- > **laulava**

lukea > luke- : lue- > **lukeva**

tapella > tappele- > **tappelava**

pudota > putoa- > **putoava**



能動現在分詞の作り方—練習

- 能動現在分詞の形に変える。

kirjoittaa 書く tehdä する

syödä 食べる nähdä 見る

kuunnella 聞く

hakata 叩く、切る

valita 選ぶ

kyetä できる



能動現在分詞の作り方—練習の解答

●解答

kirjoittava 書く

tekevä する

syövä 食べる

näkevä 見る

kuunteleva 聞く

hakkaava 叩く、切る

valitseva 選ぶ

kykenevä できる



能動現在分詞の使い方（1）

- 名詞を修飾する。

itkevä tyttö 「泣いている少女」

keittiössä **itkevä** tyttö 「台所で泣いている少女」

- 補語など形容詞と同じ働きをする。もちろん格変化する。

Hän näyttää nuorelta. 「彼は若そうに見える」

Hän näyttää **itkevältä**.

「彼は泣いているように見える」



能動現在分詞と関係代名詞

itkevä tyttö 「泣いている少女」

= tyttö, **joka itkee**

keittiössä **itkevä** tyttö 「台所で泣いている少女」

= tyttö, **joka itkee keittiössä**

Rakastan keittiössä **itkevää** tyttöä.

= Rakastan tyttöä, **joka itkee keittiössä.**



能動現在分詞の使い方 (2)

●語彙化した能動現在分詞も多い。

loistava 「すばらしい」

katoava 「消えつつある」

taitava 「上手な」

jännittävä 「ドキドキするような」

yllättävä 「驚くべき」

sopiva 「適した」

kiinnostava 「興味深い」

jatkuva 「絶え間ない」

